命が最優先　休業には補償を

STAY HOME

「職人は機械じゃなく人間」―現場からの声

東京土建では、新型コロナウイルスの影響WEBアンケートを実施しています。4月15～20日に寄せられた声の一部を紹介します。

●今、東京都の仕事をしてます。小池百合子の発注の仕事です。未だに工事は止まってません。国も東京都も対応が遅すぎる。緊急事態宣言が出てるのに対応がおかしい。コロナに感染しろって言ってるのと同じでしょう。緊急事態なのになぜ小池百合子が発注してる工事は止まらないのか。言ってる事とやってる事が無茶苦茶だ。言いたい事はまだ山ほどあります。

密集、密閉状態の建設現場内の休憩所

●私達、現場労働者は日給月給です。仕事がストップすると休業補償ありません。即生活苦に陥るのは間違いない。コロナウイルス感染緊急事態宣言で、いつ収束するかわからず仕事の見通しもつかず不安なのと、支払いが困難になる恐れがある。

●同じ下請の職人がコロナ感染。同じ詰所を使用していたため、濃厚接触者として約2週間自宅待機させられた。

●コロナ感染者が出ない限り現場が中止にならない状況がおかしい。現場で感染者が出たらクラスターがすごい事になる。3密の現場でコロナになるまで働けとは酷い。

●今月途中から5月の連休明けまで、現場での仕事が延期になったので、今月末の請求が少なくなる事が間違いない状況になりました。そうなると5月末の入金がだいぶ少なくなって、支払いが心配になります。申請が、去年の同じ時期に比べて、2割減していないと対象にならないという事を聞きました。今後が大変な状況になる訳で、今　それを出せ??という無理な事が条件だという事に納得出来ない。本当に困っている人を助けるのが、政治だと思うのですが、土建としての応援を強力にしていただきたい。

●ただでさえ不衛生な現場なのでコロナが落ち着くまでは自宅勤務させていただきたい。命がかかっています。

●S建設が、O建設が停止を発表した中、T建設とK建設は何をしているのか。どう考えているのか。本当に聞いてもらいたい。職人は機械じゃなく人間です。東京土建さんだけでなく各土建組合様が動いてくれるのを心より願っております。あの丸の内3―2の時のように。

●現場が延期になったことによる収入の減少。（限りなく無しに近い）30万円給付の複雑さが話題になっているが、確かにその通りで、政府はもっと迅速にこの窮地を判断し、一人当たりの給付を実行していただきたい。マスクの配布も必要ないし、優雅に犬を抱きながらお茶をすすってる場合ではない。

●1人当たりの給付金を考えた方がいいと思う。日本は、頭がおかしいですよね?他国は1人当たりの給付金なのに、日本だけですよ。マスク2枚!東京土建で変えて行かなきゃダメですよね。

●緊急事態宣言地域ですが、37・5度以上の熱があっても上の判断で休ませてあげられない。陽性患者が出るまでは工事は止められないらしいがそもそも肺炎になった人間以外検査が受けられていない現状です。何人か医者で検査を希望したが、抗体が出来てるから大丈夫だよと言われたらしいです。風邪の様な症状が蔓延しているので高齢な方にうつることがないか心配でならないです。

建設7団体で共同声明

NHK、読売、朝日等12社が

けんせつプラザでの記者会見

4月28日、けんせつプラザ東京で、「誰ひとり取り残さない!2020建設アクション実行委員会」（東京土建を始めとして建設関係7団体で構成）で共同声明の記者会見を行ない、NHK、読売新聞、朝日新聞、時事通信など大手マスコミ、また日刊建設工業新聞などの業界紙、経済誌の12社の記者が参加しました。

小番徹書記長の司会で進行し、中村隆幸委員長が共同声明で、「新型コロナウイルス対策に合わせ、建設産業に働く労働者の処遇改善を要求していく」と発言しました。「現場感染予防の徹底」「地域建設業者の事業継続」「技能実習生への支援」など6項目の具体的な要求を北川誠太郎書記次長が説明、閉所になった大手ゼネコン現場で働く仲間、また技能実習生を雇用する㈱しんせんの小笠原さん(杉並)とベトナム人実習生が窮状と不安を訴えました。会見終了後は、発言者を記者たちが囲み、取材が行なわれました。

行政・ゼネコンに要請、メディアに訴える

これまでの東京土建本部での取り組み

3/10	東京都、東京労働局へ要請行動
3/31～4/21	ゼネコンへ要請行動（大成建設、熊谷組、鹿島建設、清水建設、西松建設、松井建設、大林組、片山組）
4/8	東京労働局交渉（労働保険年度更新の延長等）
4/16	東京都へ要請行動
4/16	東京新聞夕刊に「『一人親方』苦悩（黒木基男さん・北支部）」の記事が掲載
4/17	テレビ東京WEBで「工事中断、3密…悲痛の現場」が放映
4/23～24	大手企業で交渉可能な7社に交渉
4/28	建設A実行委員会として共同声明を発表、記者会見
4/29、30日	建設工事従事者ホットライン☎を開設

雇用調整助成金

申請法を動画で教えます

本部でのビデオ撮り

雇用調整助成金に関する問い合わせが仲間から寄せられているのに応えて、東京土建本部ではHPで、北村博昭社会保険労務士による「新型コロナウイルス感染症と雇用調整助成金の申請・手続き実務」の講演を動画配信しました。

助成金の申請を検討している事業所の仲間はぜひご覧になり、役立ててください。

東京土建の緊急提言（コロナ対応支援策等緊急提言）　こちらへ

生活や事業にお困りの仲間はまず所属の支部へ連絡を!!　こちらへ

こんなとき・あんなとき…建設業で働く仲間には…どんな支援が?!　こちらへ

くらしのお困りごとは

- 住むところに困ったときは（住宅確保給付金等）
- 中小企業の従業員の方向け生活資金融資
- 社会福祉協議会による緊急小口貸付等の特例貸付

事業上の対策は

- 経済産業省の事業者向け資料
- 国土交通省の工事対応等資料
- 各自治体ごとの融資制度一覧
- 賃金や解雇・雇止めなどの日本労働弁護団のQ&Aページ
- 雇用関係助成金等の活用について
- 建設企業各社に向けた要望書
- 国・東京都に向けた要望
- 新型コロナウィルス対応 工期変更書式

東京土建ではホームページ（通称・DON-NET）のトップページに「新型コロナウイルス対策本部」の項目を作り、日々更新しながら役立つ情報を発信しています。ぜひご覧ください。また「コロナウイルスの影響で困っていませんか～アンケートのお願い～」を作り、現場で働く皆さんの声を集め、行政や大手企業への要請にいかしていきますので、ぜひ現場の声をお寄せください。